



# Nepal Blind Support Association

ネパールの視覚障害者を支える会(NBSA)会報

第31号 2011年10月

NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

主内容：カトマンドゥの街角から/活動報告/2010年度総会報告/  
フェアトレードショップからのお知らせと事務局便り/総会報告2（決算/予算）

騒然とした街角の秩序、ちょっと見るとめちゃくちゃ  
でもそこがおもしろい！ようこそカトマンドゥへ



バイクは男のシンボル、そしてステータス、写真のように歩道駐車も許されるのだ。革靴も伊達男に欠かせないアイテム。電線が無秩序にぶら下がっているのがこわい。

カトマンドゥの下町は商人、職人でごったがえしている。ネパールは物流がきわめて遅れているので、外国製品も国産のものもいったんカトマンドゥに運ばれてまた分散されていく。価格競争もかなりえぐい。こんなんでも儲かるのかな～と思えるほど。値切るというのはかなりエネルギーがいるので毎日のこととなると、はぁ～ 確かに疲れます。

## ネパール現地活動報告 2011年6月～9月

### 6月の定例活動

#### カセットテープライブラリー事業 トーキングブックの作成

前号でもお知らせしましたが、生活に欠かせない栄養や健康、美容に関する雑誌などの音訳が進んでいます。ここ2年間は短大や大学レベルの教材の編集が多かったのですが、より幅広い読者をターゲットに、様々なジャンルの本を音訳しています。また、これまでカセットテープ向けに編集していた小説のCD化も始めています。その第1作目が、ダーヤマン、シャムシェル、ラナ家の勃興と衰退を描いた長編歴史小説、『白い虎』のCD化。これは日本語にも翻訳されている名著。多くの方にカセットテープで聴いてもらいましたが、若い人達の間でも教養のためにぜひ聞きたいというリクエストに応えたものです。今後のCD化の予定は日本民話『鶴の恩返し』と『母アーマ』（ロシアの文豪ゴロキ作の作品）、どれも苦労してテープに録音したものです。

#### 点字情報誌タッチ

タッチ25号発行にスタッフ一同大いに喜んだのですが、またしてもプリンタが不調。タッチ26号の発送はかなり先になりそうです。

### 7月の定例活動

#### カセットテープライブラリー事業 トーキングブックの作成

5月から短大の福祉学科の女子学生2名が、週2回、朗読のボランティアに来ています。この二人、目的は無論のこと単位獲得のためですが、今回受け入れたボランティアさんたちはこれまでなかったほどビジネスライク。NBSAの事にはたいして興味がなさそうです。3年前に初めて派遣されてきたボランティアの男性は、朗読に自信がなかったものの、必死に点字を勉強したり、訪問者をバス停まで一日に何度も迎えに行ってくれました。ちょっと年寄りくさい愚痴になってしまいましたが、ああ、昔はよかったなあ。さて、事業のことですがトーキングブックに使う本をなるべく買わずに、様々な人から一時的に本を借りるようにしました。これは4月に越してきた新事務所の大家さんの提案です。大家さんの奥さんは、かなり協力的でかなりたくさん本を貸してくれました。

#### 点字情報誌タッチ

ネットニュース6月号と同じ報告で恐縮です。またしてもプリンタが不調。

### 8月の定例活動

#### トーキングブックの作成

前にもお伝えしましたが、ますますもってカセットテープ録音の需要が減ってきました。これまで作成したカセットテープのCD化が事務所内でも始まりました。パソコンに強いスタッフが毎日地道に働いています。

#### 点字情報誌タッチ

いまだにプリンタの故障が不調。残念ながらタッチの編集と発送は中断しています。

### 9月の定例活動

#### トーキングブックの作成

カトマンドゥ市の私立短大の学生が朗読ボランティアを続けていましたが、契約期限が切れたので、あっさり退散してしまいました。NBSAカトマンドゥでは、定期的にボランティア募集を行っていますが、

常に不足気味です。8月と5月に5冊の本を音訳しましたが、ヒットしているのは心のチキンスープ英語版です。

#### 点字情報誌タッチ

毎度プリンタの故障の話で恐縮ですが、交換部品などネパールで入手は無理。そこで常套手段として、ネパール盲人協会に印刷を依頼しました。遅れに遅れたタッチ 26 号やっと発送が終わりました。タッチ 27 号の印刷もかなり難しくなると思っています。今後どのように作成と印刷をするか検討中です。

#### 特別事業

ネパールの空はすっかり秋の色

8月13日は秋の訪れを告げる神聖な儀式が行われました。これは最高位カーストのブラフマンが中心になって行い、五穀豊穡と健康を祝う五色マメを食べます。けっこう堅苦しい儀式なのですが、その翌日はなぜかドンチャン騒ぎのガイジャトラ、牛祭りが行われました。

本来は今年1年に亡くなった人が、楽しく天国に行かれるように祈るネワール族の儀式日なのですが、楽しく愉快がモットーのこの儀式。あの世に行った人たちもびっくり仰天するような奇抜な衣装をして街を練り歩く人々、街角には素人弁士が政治風刺の即興詩を謡うなど、誰もが自由奔放に一日を送る日でもあります。

同日我がネパールの障害者を支える会ではこの日、初めてガイジャトラ、スペシャルを開催。漫才、声帯模写、舞踊、はては子どもがなぞなぞをしておとなを悩ませるなどなど。特に面白かったのは、飛行機、列車、バスなどの車両の声帯模写、それにあの世に行ってしまった高名な政治家コイララ氏と現役のマオイスト派党首ブラチャンダのトップ会談声帯模写。ウケにウケまくりました。

こんなに地上で騒がれたらあの世に行ってしまった人たちは安眠できませんねー

おとなも子どももいっしょになって騒いだイベント。

死後の世界に渡った人たちもきっと大笑いしたことでしょう。死者を笑って弔う、いかにもネパールらしい気がします。すでに来年へのアンコールの声が上がっていますが、はてどうするかな？

#### 特別事業

9月15日のクイズ大会

今年は同日、同時間に2か所で開催しました。

カトマンドゥ盆地と近郊の4つの盲学校の選手が、名門校ダルパールハイスクールに集い、また、チトワンにおいては隣県の4つの学校から選手が参加してかなり盛り上がりました。

アレンジメントは役員と多くのボランティアの力によるもの。皆さんよく働いてくれて、感激しました。

12月5日の国際ボランティアデーでは、彼ら彼女たちの労をねぎらうパーティーを開く予定です。なお、クイズ大会の主賓に、長崎大学教育学部の上藺恒太郎教授にお願いしました。先生旅行中にご足労頂き、どうもありがとうございました。

NBSA クイズ大会、スコアー 合計8校 選手各3名

1位 ラボラトリースクール 180点 カトマンドゥ (キルティプル)

2位 アマルシンハスクール 40点(ポカラ) / 2位 サンジバニドリケル 140点(ドリケル)

3位 バンパラパティ 110点(ナラヤンガート) / 3位 ナムナマチンドラ 110点 (カトマンドゥ)

4位 ジョワニ 105点 (チトワン)

5位 ナラヤニチャビ 100点 (プトワール)

6位 アダルシャ 90点 (サノティミ)

カトマンドゥのみならず地方の学生もみなよく頑張りました。  
来年もクイズ大会を開催します、ぜひ応援してください。



#### カトマンドゥ事務所だより

1年以上ものすごく熱心に働いてくれたボランティアのスジャンが渡米しました。米国のフルブライト奨学金応募テストに見事な成績で合格。将来が楽しみな学生です。後任は主婦の女性1名と男性の大学生1名。共に弱視ですが、音声パソコンの操作はかなり上手。2名とも真面目に出勤してくれています。スジャン君、長い間熱心に勤務してくれてありがとう。

実はスジャン君と私達の関係はかなり古い。今から8年ほど前に全国規模でクイズ大会を行いました。スタジオを貸しきり、ネパール国営放送で3度も放映されたすごいもの。スジャン君はそのとき初めてボカラからカトマンドゥに来ました。しかも飛行機で。「あのかの感動は決して忘れられない」とのこと。さらにおもしろいのは、スジャン君の後任で、現在事務所でボランティアをしているニルマル君は当時14歳。1才年齢が足りずにダランのクイズ大会に出場できず、カトマンドゥに飛行機で行った先輩たちをうらやましく思ったとのこと。今彼はコンピューターを学び、NBSAのヤングリーダーになって一生懸命働いてくれています。

#### カトマンドゥでも大揺れしたインド北東部シッキム州の地震

去る9月18日夜、部屋でぼんやりしていると、あれ？なんだかめまいがするなと思うような横に大きな揺れを感じました。ご飯を食べ終えたばかりでもう眠くなったのかなあ、とたかをくくっていたのですがあまりにひどい揺れ。ネパールの家屋って建材が貧弱なのでいちおう、と思って外にでました。グアバの大木が大きく揺れている。こいつはヤバイと直感。ものの数分で収まったのだから、近所から悲鳴が止まない。ああ驚いた！

翌日の新聞によると、マグニチュード6.9と言う大地震であったことを知りました。ネパールでの死亡者は8人、カトマンドゥでは英国大使館の古い建物が崩壊し、3名が亡くなったと知りました。ネパールでは大きな被害には及びませんでした。震源地のインドでは多くの犠牲者を出し、数百人が家族と住居を失ったとの事です。ご冥福お祈りします。





## 千葉のフェアトレードショップからのお知らせ

面白くてなんだか楽しいネパールグッズ  
岩塩や紅茶に人気集中

NBSA では、千葉県柏市の視覚障がい者を中心とする障害者サポート小規模作業所ポコアポコに、ネパールの民芸品やおしゃれグッズの販売をお願いしています。ポコアポコのスタッフはすごく協力的。季節や流行に合わせたネパール製品を作業所内ばかりでなく、バザーなどでも積極的に販売してくれます。ポコアポコは本当にNBSAの心強い助っ人。ネパール特産のパシュミナのストールやマフラーも置いています。また定番のネパール紅茶や、ヒマラヤの岩塩も人気者。収益はNBSAに還元されます。たくさん買ってください。ご協力のほどお願いします。

住所：千葉県柏市 松葉町 6 - 8 - 1

問い合わせ：ポコアポコ作業所 (電)04-7136-0505

### 事務局たより

(NBSA 日本事務局 高梨 記)

梅雨と酷暑が繰り返した奇妙な夏がようやく終わり、めっきり秋らしくなってきた今日この頃ですが、NBSA 会員・支援者の皆さん、お変わりございませんでしょうか。

今年も残すところ2ヶ月余となりましたが、振り返ってみると、3月の未曾有の東日本大震災とそれに伴う予想もしなかった原発事故、6月の酷暑、9月の台風12号による紀伊半島の大水害と「いったい地球はどうなっているのだろうか」と、首を傾げてしまうような自然災害の連続でした。こうした現象は日本ばかりでなく、南太平洋の楽園「スバル」には海面の上昇による国土の水没の危険が迫っていますし、ヒマラヤでは氷河が溶け始め、南極のオゾンホールも拡大する一方です。考えてみれば、これらは皆、人間のエゴから生れた人災です。私たちは今こそ真剣に己の責任について考えるべき時が来たのではないのでしょうか。子孫に恥じない行動をしたいものです。 日本事務局担当 高梨憲司

#### ネットニュースのご紹介

月1回配信のNBSA ネットニュースはネパール現地の活動報告のほか、ネパール関連の様々なニュースを掲載しています。特に「時のネパール」はネパールの政情を掲載し渡航状況を知る上で便利。

**ホームページ** NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

ネットニュース毎月の配信をご希望の方は直接カトマンドウ事務所にインターネットでお申し込みください。 [NBSA@mail.com.np](mailto:NBSA@mail.com.np) 又は [yorikonepal@hotmail.com](mailto:yorikonepal@hotmail.com)

Nepal Blind Support Association (NBSA)

P.O.Box:8974 PCN-111 Katmandu Nepal Tel:977-444-6234

E-mail: [yorikonepal@hotmail.com](mailto:yorikonepal@hotmail.com)。または [NBSA@mail.com.np](mailto:NBSA@mail.com.np)

日本の事務局:

〒284-0005 千葉県四街道市四街道1-9-3 視覚障がい者総合支援センターちば内NBSA

電話:043-424-2501 Fax:043-424-2486 事務局担当者 高梨 憲司

NBSA HP:<http://NBSA.sakura.ne.jp/>

維持会費：個人会員年間6,000円/協力会員年間3,000円/法人会員年間15,000円

振込先：口座記号番号00190-7-762775 (ネパールの視覚障害者を支える会)

## NBSA 総会報告

総会の御礼。去る5月28日の土曜日、NBSA日本の事務局のある千葉県の視覚障がい者総合支援センターちばで総会を行いました。今年を取り立ててアトラクションなど行いませんでしたが、2010年度の事業報告と決算も無事承認され、長きにわたりNBSAを援助してくださっている方々と共に、総会の後に和やかな懇親会を行いました。NBSAが今日まで活動できるのは、皆様の支援があってこそと感謝に耐えません。2010年度もお世話になりました。厚く御礼申し上げます  
ネパールの視覚障害者を支える会 会長 渥美 資子

## 2010年度活動報告 NBSA カトマンドゥ

### 定例活動

1. トーキングブック事業 作成30冊。

目標に達したものの、音訳ボランティアが不足気味だった。

これまでカトマンドゥのK&Kカレッジの社会福祉学科の学生を半年契約でボランティアとして受け入れていた。NBSAに派遣される学生は、1週間に2度事務所でボランティアをすると単位がもらえる。本年度5月から復活したが、昨年はひとりもボランティア派遣がなく痛手となった。

その他事務所の営業日の月曜日、水曜日、土曜日には常に2名ボランティアスタッフを置き、リーディング他CD編集や貸し出し、訪問者へのサービスなどをお願いしている。短大生で弱視のパソコンのメカに強いボランティアがひとりいて、ジョーズという音声ソフトを駆使した本の編集や手紙の作成、事務仕事などをお願いしている。長期間に亘りNBSAでボランティアをお願いしたいのだが、8月にアメリカに留学する。彼の不在はNBSAにかなり痛手となりそうだ。

2. 点字情報誌タッチの作成と配布3回（計画6回）

発行が予定よりかなり遅れた原因 印刷機の長期間不良

解決策 一部機械の部品を購入（スウェーデン製）予算を超える出費になった。

3. その他の定例活動

ネパールにて使用済み衣類の回収と配布

日本向けネットニュースのメール配信 10回

日本の会員向け会報の配信 3回

### 事業の部

2010年4月から2011年3月

5月 NBSAボランティアとの集い ナガルコットハイキング 参加者：28人

9月 こどもの日クイズ大会 NBSAのロングラン事業通算7回目

9月 長崎大学「学生国際NGOポート」の協力によるカセットテープの高速ダビング機寄贈式典  
（寄贈元：滋賀県点訳ボランティア）

11月 2010年度 NBSAスタディーツアー 日本から4名。現地参加1名。

事務所の訪問の他、カピルバスツアー盲学級寄宿舎、ボカラのアマルシン八学校の寄宿舎等視察及び使用済み衣類の配布等。

12月3日 国際障がい者デー 役員とボランティア全員参加

12月5日 国際ボランティアデー（茶話会開催）

12月25日 視力に障がいのある女性のためのメイクアップ、サリー着付のけ、折り紙の講習会  
参加者：30名余、ボランティア15)

2011年

1月4日 点字競技会 (役員の自主参加)

3月31日 旧事務所の閉鎖

4月1日 新事務所の開設

役員会議 通算 3回

主な議題：

年間スケジュールの確認

現地収入について。クイズコンテストについて。ネパール全国障がい者連盟総会について。

NBSA 財政について。2011年度から役員8名から ひとりにつき1か月100ルピー 年間1,200ルピーを収集することに決定した等。

総論 今後電気のない国でどのように活動していくかについて、深く考えさせられた年だった。これまで7年間使っていた事務所のデスクトップパソコンが次々に故障し、何度も修理や部品の交換を行った。使用頻度が高く、使用するボランティアに技術的差異がありかなり荒い使い方をしたのも原因のひとつだった。

電力不足に関して、解決策として小型の蓄電器(インバータ)を購入したが、停電の時にデスクトップパソコンを使用すると小型の蓄電器はすぐに消耗してしまう。その点ラップトップパソコンは蓄電池が内蔵されているので停電時にも数時間使用できる。今後、ラップトップパソコンの寄贈者を募る計画がある。ネパールの計画停電は今後数年間は改善の見込みがなさそうだ。

点字印刷機も長期に亘り不良であったため、点字誌の発行が大幅に遅れた。こうした機械類の故障、老朽化は食い止めることができない。活動環境が著しく悪いネパールで、NBSA はかなり斬新な事業に取り組んでいるので、こうした障害はどうしても生じてしまう。今後、活動資金の援助について、こうした機器類の寄贈を広くお願いしていく計画である。

NBSA 事務所をカトマンドゥに開設した当時は訪問者も少なく、また事務所に来て誰かが本や新聞を読んでいる声に耳を傾けたりして時間をつぶす人が多かった。最近のNBSA は一種のカルチャーセンターのようになり、利用者のニーズの範囲が一気に拡大した。そのニーズに応えるためにはコンピューターなどを駆使して作業をしなければならない。電力が慢性的に不足しているネパールで、このような事業を展開するのは容易ではない。

以上

NBSA ネパール 役員構成 (昨年度同様)

会長：プララダ・タバ

副会長：シャラダ・アディカリ

事務局長：ヤダブ・ダハール

会計：ビソ・アディカリ

一般役員： オム・ブラカス アルナ・バスネット  
ディーパク・サブコタ  
シュレンドラ・ガウタム  
現地コーディネーター・渥美 資子

以上

### 日本事務局活動報告

1. 現地活動資金送金 2 回
  2. 会報作成発送 (年 3 回)
  3. 新規会員獲得 1 名
  4. イベントでの寄附金収入 6,000 円
- 今年度も目立った活動ができなかった。

### 2011 年度活動計画 現地

#### 定例活動

1. 点字情報誌「タッチ」の発行 発行目標：年間 6 回
2. トーキングブックの作成と貸し出し 本の作成目標：年間 35 冊
3. その他の定例活動  
古着の随時回収と寄贈  
日本向けネットニュースの配信 年間 11 回  
日本向け会報の発送 年間 3 回

#### その他の事業予定

- 5 月 点字会報誌「タッチ」創刊 25 号記念式典  
同時に「ヘルプ・フォー・ジャパン / ヘルプ・フォー・NBSA アクション」
  - 8 月 「子どもの日クイズ大会」準備会議
  - 9 月 「子どもの日クイズ大会」
  - 10 月 ダサインとティハール休暇
  - 11 月 学生を対象にした「生活自立訓練会」準備会議と施行
  - 12 月 3 日 国際障がい者の日
  - 12 月 5 日 国際ボランティアデー
- 以上

### 日本事務局活動計画

1. 現地活動資金の送金
2. 会報の作成発送 (年 3 回)
3. イベント等に参加し活動紹介および寄付を募る